

令和6年第12回田上町教育委員会定例会会議録

1. 開会年月日 令和6年12月17日 午後2時00分
2. 開会場所 田上町役場 会議室2
3. 出席委員 教育長 首藤 和明
教育委員（教育長職務代理者） 石田 一平
教育委員 山田 正夫、渡邊 悦子
4. 欠席委員 教育委員 齋藤 美里
5. 職務のため出席した者
事務局長 時田 雅之、管理指導主事 中野 國芳、局長補佐 諸橋 弘樹
6. 会議に付した事件
 - (1) P T A要望について
 - (2) 諸報告
 - (3) その他
7. 会議の経過及び結果
令和6年12月17日午後2時00分、令和6年第12回田上町教育委員会定例会の開会を宣言した。本会期を1日と提案し、了承され決定した。本日の会議録署名委員に石田委員を指名した。

教育長 早速議事に入ります。最初に、P T A要望について説明をお願いいたします。

局長 それでは、(1) P T A要望についてということですが、例年9月の終わり頃に、町のP T A連絡協議会から要望書ということで提出をいただきます。今年度については、皆様のお手元のところに、令和6年度教育環境改善の要望書という資料が配布されているかと思います。各校からの要望と最後に3校共通の教育環境改善要望事項という内容になっております。昨年度と大きく変わりはありません。スクールバスの乗車範囲の拡大であるとか、止まれ表示などの引き直しですとか。そういったものが主なものになっておりますが。

23ページをお開きいただきたいと思います。こちらは3校共通の要望事項になりますが、給食費に対する項目があります。今年度、国の交付金を活用しまして、2ヶ月、給食費を無償化しました。令和5年度も同じ

く交付金を活用しまして、1ヶ月の無償化を行っております。この要望書の中には令和7年度以降も、給食費について補助をお願いしたいということで記載がありますけれども、実は11月に給食会議が開催されて、昨今の物価高騰によって、今の給食費の金額ではちょっと提供が難しいということになりまして、一応会議の中では来年度、小学校は月額600円、中学校は月額700円の値上げを予定させていただく事になりました。そういった中で、継続的な給食費に対する助成についての要望事項ということで上がってきております。来週、令和7年度当初予算の町長査定がありますが、その中でこういった形になるか、財政も含めて協議をし、対応してまいりたいと考えております。

それから、冷房ということで書かれておりますが、こちらについても、この夏の猛暑で、学校生活において体育の授業もそうですし、全校朝会や全校集会、それから放課後を過ぎれば、学校開放ということで、体育団体がそれぞれ利用しておりますけれども、なかなか体育館の室温が下がらないということの中から、こういった冷房の要望事項が今回新規で上がってまいりました。かなり大きな事業費を要する事項になりまして、1校個あたり概算ですけれども、40,000千円から50,000千円ほどかかってくるような規模と想定しています。

機械設備ですので、整備をすれば維持管理やランニングコストというものも当然発生してきます。使い方にもよりますが、電気料がかなり高額になるのではないかなと予想しております。これらについて、いずれは整備が必要になるのではないかと考えておりますし、また学校は避難所としての機能も持ち合わせていることから、財政等々と協議しまして、計画的な整備に努めてまいりたいということで回答を予定しております。

石田委員

私も、ちょっと前になりますけれどもPTA会長をやっていて、三役が集まるときに、こういう要望事項をまとめたことがあるんですけども、以前から提出されている要望は改善されていないものが多いんですね。それで、新規で何かありませんかという、急に色々出てくるんです。新しいものを出して新しいものをこう訴えましょうというふうな雰囲気になると、懇談会の中で、あんなこともあって、こんなこともあって、また、そうだよね、ああだよねという話が盛り上がってくるんです。本当は三役がそこで吟味して、じゃあどれをどうやって、どうしょう

かという話を持っていくのが普通なんですけども、今回の要望内容を見てみると、多分その辺りが機能していないのではないかな。こんなこともありました、あんなこともありましたと、思いついた内容を記載したようなことばかりなんで、その辺はどうなのでしょう。もう少し、三役なりが…。あの場に校長先生は来るんですか。

教育長 学校によって違うと思いますが。

石田委員 私が田上小のPTAをしていた時は、やっぱり校長先生はいませんでしたね。PTA三役と地区役員の方と、それくらいかな。それで話を揉むんですけども、学校の方からすると、新規の要望を出して欲しいというような話があったんで、それで話しが白熱するんですよ。そうすると、その解決策ではなく、ただ単純に、ああだったこうだったと。そうすると、今回の要望の中に看板の件がありました、多分誰か一人が言ったと思うんです。看板が邪魔だよ、そうだよねと。そういう話になると思うんで。それを移動や撤去をしてもらうにはどうやったらいいいのか、そういうところまで踏み込んでいないと思うんですよ。ですので、その辺をどうやって促していくのかなというのは、これからお伝えする時なんじゃないでしょうかね。本来はPTA三役から出た要望を、校長先生が集約のやり方について、まとめてあげた方が一番いいと思うんですけどね。

山田委員 これは、学校から出ているものですか。学校を通して。

局長 学校を通してです。

山田委員 そうですよ。ですから、まとめる時になると、書いている人はそういうことを感じているんだろうなと思うんですよ。

局長 私もそう思います。この書き方でいいのかなというふうに思わないのかなという気持ちはあります。

石田委員 現場では要望書ということで、書類をまず書くんです。それをそのまま全部学校に提出しますので、学校はそれを改めて確認するということはやりたがらないのかな。多分するのが面倒なのか。

局長 それに近いことは言っていました。今年度の町PTA連絡協議会の担当校は羽生田小学校です。さきほど話に出てきましたが、個人の看板の件をこのまま載せるんですかとお聞きしたところ、やはり学校としては、地区のPTAから出てきた要望を学校の段階で落とせないという話はし

ていました。ですので、出てきた要望については全部あげてあると思われる。だとしても、書き方がちょっと…。

教育長 要望じゃないですよ。文句というか不満ですよ。 「スピードを出して走る車がいる」って、事実を言っている訳であって、感想ですよ。

山田委員 おそらく、地域の方がスピードを出している車を見て、「危ないな」と学校に言っている言葉なんですよ。それを学校がそのままここへ書いてきてる。要望として。だから、学校がやらなければならないこと、指導すべきことを、いくつもここに上げてきていると思うんですよ。そこの受け止め方。町に対する要望じゃなくて、学校に要望しているとかね。地域もそうだけど、学校に対して変えてもらいたいということ、ここであげてきているような感じを受けますけど。だから学校の方で、もう少し地域をまとめる方との打ち合わせと言いますか、その辺もう少しやってくださいということを、委員会として伝えておけばいいんじゃないでしょうか。

石田委員 少し前に、区長を絡めましょうという話があって、区長は地域の状況がよく分かるから、要望書を出す時に区長からも同席してもらおうという話もありましたが、いつも同じ区長ではないため、この話しは立ち消えになったんですけれども。だから、集約する方法を固めないと、このようなことになるかなという気もするんですけども。一時、区長を通じていって下さいというような表現も、回答する中でありましたよね。そういうふうにすると、もう少し具体的に、区長へ訴えるにはどうやったらいいのかなというふうなことを考えますよね。

渡邊委員 区長も来ますよね。地区要望の関係で。

石田委員 それをまとめてもらった方がいいのかなという気もするし。その年々の雰囲気なんじゃないかな。

教育長 私が羽生田にいた時は、PTA要望と区長会から出てくる要望と、ずれているとうまくないから、ちゃんと区長と話して、どちらからも同じ要望が出てきた方がいいのではないかという指導を受けて、だから、町PTAとしても、事前に、例えば地区懇談会のようなところで区長から来ていただければ一番いいし、そこでこういう要望をあげていくんだけど、区長の方からもいかがでしょうか。ただ、そんなものはダメだと言われればそれまでだし、地区からも言うからPTAとしても出

せばいいのでは、というようなすり合わせをしていたんですよね。そういうものが何か…、いつの間に無くなっているような気もするんですけども。

局長

今年の当初予算を作成する段階で、8月のお盆過ぎ頃でしょうか。学校に通知をして、どういう整備をしてもらいたいのかというものを出示してもらいんですけども、その時にも今後出てくるPTA要望事項の中で、例えば消雪パイプの整備を通学路に設置して欲しいとか、ガードレールを設置して欲しいというような道路整備とか、また梅林公園の木を切ってもらいたいとか、枝をおろしてもらいたいというような、教育委員会ではなく、他の課に対しての要望事項がある場合は、区長の方にもお話してください、地区の方からも同じ要望を上げていただくようお願いしてもらいたいという話はしています。それが先ほど、教育長が言われたように、地区の要望とPTAの要望というのは考え方が一緒なんだ、だから是非やってもらいたいんだ、というような形にするためにも、地区の方に話をしておいてくださいと伝えてあります。実際、どのくらい伝わっているのかは分かりませんが。

石田委員

やりたくてやってるわけじゃないという区長が確かに多いですから、要望書を持ってこられると、「そんなこと言われたって」という区長もいるんです。実際問題、乗り気で話を聞いてくれて、現場を見に行きましようとか、一緒に考えましようという区長もいるし。なかなか難しいところもあるんで。だから、どういう方向性でまとめてもらった方がいいのか…。本当に、要望という言葉を勘違いしているのかな。

教育長

これは、要望事項をまとめたものですよね。

石田委員

私も確かにやっていたこともありますけれど、正直言うとそんなに切実で悩んでいるということは、そうそうないんです。それだから、何か要望として入れてと言われてやっているようなところもあるので。

そういったことから、本当に内容を精査しなきゃいけないところもあるので、精査をするためには何らかの方法、手段を考えていかなきゃいけないのでは。学校の方は、どうせ要望したところで受けてくれないのだから、言うだけ言ってみればという空気があることは確かですね。

局長

私も今までPTA要望を見てきましたが、今年ほど内容について悩むことが多い要望はありませんでした。本当に保護者の方がこの形で要望

して欲しいという話をした中で、学校がこれをまとめたということであれば、やっぱり学校は保護者へ物が言えないのかなという気もしています。少し悪い言い方ですが。

石田委員 基本的には言うだけ言ってというところもありますから。だから逆に、学校の方で精査したら半分以下というか、ほとんどなくなるかもしれませんよね。学校もまとめる際には、自校で指導しなくてはならないような要望は、自校で解決すべきですよ。

山田委員 その辺が、例えば10ページの4番、みずきの団地でスピードを出す車に対する要望ですが、こんなところに出すべき内容ではないですよ。だから、地域で区長になんとか警察に連絡してくれとか。そうなればいいですけど。

石田委員 学校も保護者も、区長との距離って結構ありますからね。

渡邊委員 そうかもしれませんね。

石田委員 それに対して、保護者の方へ区長に要望を出してくださいなんて言われたって、そこで多分面倒なこともあり、ほとんど出ないですよ。多分。その辺を、区長から見てもらえれば精査されて良い要望書が出てくると思うんですけども。

局長 羽生田小の話ばかりして申し訳ないですけど。区長へお話しをしないのではと思った事項として、また同じ9ページなんですけど、見守りのボランティアの人数が少し増えると良い、さらにはボランティアの方に中学生の登校時間にもお願いしたいという要望が出ているんです。もし、本当に区長に相談しているのであれば、これはボランティアとして地区で子ども達の見守りをしているんだから、PTAとして要望をあげるのであれば、まず保護者が率先して、短時間でもやる姿を見せて欲しいなどの話が多分出てきていると思うんですよ。

石田委員 そうですね。筋違いかもしれませんね。

局長 今は各地区のご協力の中、本当のボランティアとしてご協力を頂いているわけで、この要望を地区へ出してしまうと、手当てが欲しいとか、見合った対価を出して欲しいという話になってくると思うので。これらの要望については、今ほどお話したように、まずは保護者の方から率先して見守り頂けると助かります、というような書き方にならざるを得ないかなと思っています。

石田委員 でも、この要望者は原文で、これに対する回答をするわけですよね。

局長 そうです。

石田委員 回答の中にそれらしいことを話すわけにはいかないですけど。

教育長 上げる前に、地区でよく話し合ってくださいという感じですね。

石田委員 そうだよ。それしかないでしょう。取りようによっては、学校と区
長との関係性が悪くなりますよね。

局長 でも、保護者の方は多分そこまで考えてはいないと思うんですよね。

石田委員 ないですよ。

局長 もしそうであれば、町から手当てを出せばいいじゃないかという話に
発展していくはずだと思います。

渡邊委員 やっぱり、ボランティアで見守りをしてくれる人は大変ですよ。

局長 大変だと思います。

渡邊委員 毎日ね、同じ人じゃないにしても、雨の日も雪の日も、同じ場所に立
っていただいて。

局長 すごく助かります。

石田委員 保護者の方は、私たちは働いて大変なんだから、時間のある人からや
ってもらいたいという話なんでしょうけれども。

渡邊委員 年寄りがいるからいいんじゃないかと思っているのかもしれませんが。

石田委員 回答書の方で何らかの方向づけをする回答を出した方がいいと思いま
すよね。区長や地区と話し合ってもらいたい、というふうなことに振っ
ていかないと。はっきりと、ある程度道筋をつけたような回答を出した
方がいいのではないのでしょうか。言いたい放題になるよね。

局長 羽生田小の校長のところへ行った時も、改めて見ると、もう少し精査
した方がよかったですねみたいな話をしていましたけれども。よく見て
おけばよかったと言っていました。

 これが正式に町長、教育長へ提出されているので、今年はこれで行く
しかないんですけども。

石田委員 PTA会長と三役とのやり方とか。その辺はどうなんだろう。言われ
たまま出しているんだろうか。そこで話を揉んでいないのでしょうか。

局長 どうなんですか。

石田委員 揉んでいる形跡はないよね。

教育長 前は8月の末に3校で集まって、すり合わせをしていたんですけどね。

それをしたのかしていないのか。全然分からない。

局長 要望書の最後に 3 校共通がありますので、私はそういった機会は多分あると思っているんですけれども。

石田委員 回答の方で、少し頭を使って。

局長 回答書の方に文章で書いた場合、誤った解釈をされる方もいらっしゃるのでは。

石田委員 文字ではソフトランディングしておいて、口頭で説明を加えて。そういう方法しかないでしょうね。

渡邊委員 13 ページにあります、看板が邪魔だということなんですね。この看板がね。こんなに離れているところなのにね。気が付きませんでした。

教育長 そうなんです。

山田委員 以前、教育委員がこの会に出ていたことがありますよね。その時に、どこかの地区で、ここの雑草がひどいので草刈りをして欲しいという要望があって、どこですかと聞いたら、分かりませんというのがありました。それから、清水沢の要望で側溝に蓋をとというのがありましたよね。去年だったか一昨年にやってくれていたんです。何も知らなかったのですが。側溝に蓋をするので何枚必要ですかと聞かれて、冬場に雪を消すので蓋をされると困ると言ったんですけれども、町ですることになったのでと言われました。

それだけ地区要望としては出ていても、住民としてそれを受け止めているかという、決してそうではないような感じがするんですよ。ボランティアなんかも、おそらく地区の人が有志でやっているかどうか、その辺は分からないんですけれど。学校との連絡会というものは無いのでしょうか。ボランティアの方と。例えば、人数を増やしてほしい時、そのボランティアを通じて、知り合いとかに頼むとか。時間がなければできないわけですからね。この地区のあの人に頼んでみようとか、そういう話がボランティアと学校との話の中で生まれてこないのでしょうかね。

局長 ボランティアの方と学校との間で、定期的に打ち合わせがあるかという、多分ないんじゃないかなと思うんですよ。学校もやりにくいのではないかと思います。地区の中で無償ボランティアとして自発的に出てくれている方々から要望が出た時に、学校も結構言いにくい内容もあ

るのではないかと思います。そういったところで、少しやりにくさというのものもあるのではないかと考えているんですけど。

石田委員

でも、実際問題、私もそうですけど、あのユニフォームを預けられると、頼みますねと言われた事と同じことに感じますから、一生懸命努めるんですけども。不満とか不平とかあっても、言ってもしょうがないというところもあるし。ただ、どんどん減っていますよね。ボランティアの人。高齢化で。もうそんなに朝から歩けないという人もいるし。だから、これから永遠に続くわけじゃないんで。ボランティアの数も、多分数年で圧倒的に減りますよね。その時にどうするかですよ。PTAの保護者の人から付いて行ってもらうとか、そういうことも含めてやらないと、いつまでも年寄り元気なわけじゃないですから。そうなってくると、それを何でもかんでもボランティアを活用していくというの、ちょっと先々には不安がありますよね。

それをどこかで訴えていかないと。PTAの方々に、ボランティアのおじいさんおばあさんというのは、そんないつまでもできるわけじゃないということをお伝えしていかなくてはダメなんじゃないかな。

教育長

田上と羽生田でも全然違いますからね。田上は児童玄関前に下校時刻になるといらっしゃって、下校時に一緒について歩いてくださいますけど。羽生田は多分、朝に付いて歩いてくださる人は、羽生田駅裏の方達ですよ。踏切を渡るから。青海団地で集まって、田上寄りの踏切を渡って、小池商店さんの前を通って行くんですよ。あそこの羽生田の方、加茂寄りの方のところは、2班くらいあって、その地区の人が踏切を渡って、羽生田の跨線橋を上がってきたところの信号あたりまで付いて来てくれる。だから、朝付いて歩いてくださってるのは、多分そこだけだと思いますよね。あと、川船河の一部もやってくれていたかもしれせん。

石田委員

田上の方は403号線沿いにバス停があるので、ボランティアの人がバス停の前に2人3人と待機していますから、それでも分かるんですよ。そうすると、前は5人6人いたのが、4人になって3人になって、最近はまだ1人2人になってきてますから。減り方が顕著に分かります。もう年取ってくると追いつけないんだってことだと思うんですよ。子どもは待ってくれと言っても待ってくれませんから。それを感じてくると

もうダメだなというふうに思うらしいんですよ。

教育長 局長の方で回答を作成してもらって。頑張ってもらいたいと思います。

局長 教育委員会に対する要望も大分あるんですが、交通安全ですと総務課が担当していますし、道路施設ですと地域整備課が担当していますので、各課の方に依頼を出して、来年の1月20日を締め切りにして、回答をまとめようと考えています。その後、2月に入ってからPTA連絡協議会へ要望事項に対する回答をするような流れとなります。

教育長 では、PTA要望の関係については終了してよろしいでしょうか。

ありがとうございます。続いて諸報告ですが、私の方から資料を1枚用意させていただきました。田上の12か年、地域とともに学ぶ教育の推進についてということで、非常にいい取り組みがあって、発信をしてくれているところを皆さんにお伝えしておこうかなと思います。一つ目ですが、地域への発信をしているということで、きずなの町長室からということに、10月号・12月号になりますが子ども達のことが出てました。バンブーブーとの連携を10月号で町長が書いて下さり、今回の12月号に、田上小で梅ゼリーというものを作ったんですけれども、それを町長に食べてもらいたいということで、こんな考え方で作ったということを発表してくれて、その様子が田上小のホームページとか、きずなとかに紹介されていますけれども、そんなふうに子ども達が一生懸命やっている姿が見えていいなというようなところと、それから道の駅にいろんな掲示物が貼られていたりしているので、お立ち寄りのときに眺めていただければと思うんですが。自分達で発信しようという行動として、掲示をしたりファイルが置いてあったりしているので、紹介させていただこうと思います。

二つ目ですが、田上中が全国の表彰を受けるということで、まだ具体的に表彰状をもらったわけじゃないんですが、受賞が決定したということで調べてみたら、都道府県ごとに1校だけ推薦する、小中から。それに田上中が入って全国から31校が推薦をされて、そのうちの上位10点に入る優秀賞を受賞したということで、どういう中身で審査されたかまではちょっと今分からないですが、去年も新潟県の環境賞を受賞し、竹林整備とかに継続して取り組んでいるということで受賞しているんですが、今回もそういったことなのかなと局長から電話してもらいましたが、

校長先生もよく分からなかったみたいで。でも、頑張ってる姿が認められているということでご紹介します。

それから、三行詩コンクール。県PTAを通じて全国の方に行って、毎年入選が出ているんですが、今年度は県で最優秀賞を取った児童の作品が、文部科学大臣賞を受賞されました。紹介させていただきます。兄弟で続いて受賞しており、家庭との連携がうまくいってるのかなというふうに思い、頑張っている姿を少し紹介させていただきました。

それから、12月議会の一般質問ですが、いつも議会が終わると報告をさせてもらっていますが、今回の質問内容がそこにあるとおりであります。答弁をした後に再質問もありましたけれども、教育委員会関係は3回目の質問をしますというものはありませんでした。

県央地区の議会の関係ですが、新聞の記事からになりますが、近隣ではこんなところに興味があるかなということで。私の方からの報告は以上です。その他、報告事項ありますでしょうか。

局長 ありません。

教育長 では、諸報告について終了します。続いて、その他になりますが、いかがでしょうか。

局長 特にありません。

教育長 では、これにて議事を終了いたします。以上をもちまして、第12回田上町教育委員会定例会を終了させていただきます。ありがとうございました。

令和 年 月 日

会議録署名委員